



# 今の時期の管理が大事です！

1月に入り雨が少なく暖かい日が続いており、今後も暖かい日が続く予想です。圃場を観察して適切な管理作業を行いましょう。

## 1. 2月の生育量が収量に大きく影響します！

麦は、「2月にどのくらい分けつを確保出来ているか？」がその後の収量に結びつきます。この時期に良好な生育を保てるよう下記の管理を！特に湿害は大敵です!!

### ①追肥(分けつ肥)

- ・播種遅れ等で分けつ肥を未施用の場合は、速やかに実施してください。(肥料切れを防ぎ茎を増やす。窒素成分で2kg/10a)

### ②麦踏み → 生育期間中に3~4回

- ・分けつを促すと同時に、草丈も低くなり倒伏を予防。
- ・生育が揃い、茎立ちが早くなることによる凍霜害を防ぎます。(今年は暖冬で徒長気味の生育なので重要です)
- ※播種遅れなどで生育量が少ない場合、麦踏みをやり過ぎると生育が停滞します。

### ③土入れ → 生育期間中に2回

- ・麦の大敵である湿害を防ぐための排水対策と雑草対策を兼ねた重要な作業。
- ※一度に土をかけ過ぎると、生育が抑制されるので注意!!

排水対策は麦づくりの「基本」です!!  
今後の降水に備え、排水対策は徹底しておきましょう。

## 2. 雑草が目立つ圃場は早めに除草剤を！

今年は暖かいせいか、草の伸びが早く早めの対策が必要なようです。目立つ圃場は除草剤を散布しましょう。

農薬名	ハーモニー75DF水和剤	アクチノール乳剤	バサグラン液剤
使用時期	麦1葉期~節間伸長前 (茎立ち前まで)	穂ばらみ期まで (出穂する前まで)	小麦-収穫45日前まで(4月上旬) 大麦-収穫90日前まで(2月下旬)
使用量 (/10a)	5~10g (加ノコガサ対策は10g)	150~200cc	100~200ml
使用回数	1回	2回	1回
カラスノエンドウ	×	○(3葉期まで)	○(6葉期まで)
タデ類	○(生育初期のみ)	○(生育初期のみ)	○(生育初期のみ)
ヤエムグラ	○(4葉期まで)	○(4葉期まで)	○(4葉期まで)
スズメノテッポウ	○(5葉期まで)	×	×
カズノコグサ	○(3葉期まで)	×	×